

# 回覧



## 2023 11月号

11/4<sup>土</sup>  
▼  
12/10<sup>日</sup>

# 根本忠子 布えほん展

もったいない、から始まる  
あたたかでおだやかな世界

布のえほんは、触って感触が楽しめ、年齢問わず、誰もが楽しめる作品。洋装店でお針子さんをしていた作者が、「もったいない」と取っておいた小さな端切れや毛糸たちを使って作られた布えほんが展示されます。

根本さんの布えほんは土台から布で作られており、端切れを絵柄に添って縫い付けたり、物語は手書きで布に丁寧に書かれています。捨てられていたかもしれない素材に命が吹き込まれた布えほんからは、一針一針のあたたかさが感じられます。

われてきました。今回その大作・全16点が芸術村にやってきました。実際に読んでいただくこともできる、触れられる展示。ぜひ、その優しさに触れてみてください。

「作者プロフィール」  
根本忠子 岩手県大船渡市出身・盛岡在住、昭和14年生まれ。  
布えほん教室に参加したことがきっかけで布えほんを作りはじめる。オーダーメイドの洋装店（会津坂下町）でお針子さんをしていたこともあり、「もったいない」と大切にとっておいた端切れを使い、趣味として作り続けて、全16点。



根本忠子



布えほん展

2023 11/4<sup>土</sup> - 12/10<sup>日</sup> 西会津国際芸術村  
10:00 - 17:00 月・火休館



小さな端切れ、短い糸も無駄にせず活かされた布えほん

# 第18回西会津国際芸術村 公募展 2023

## 閉幕しました

9月30日（土）より約3週間にわたり開催した西会津国際芸術村公募展が無事閉幕しました。芸術村が開村した翌年から始まった公募展は今年で18回目。今年の応募は、一般部門51点、U18部門32点、U15部門29点、合計112点の作品が寄せられました。

昨年からは15部門が新設され、10歳〜80代後半までと今年も幅広く多様な豊かな展示となりました。  
10月14日（土）には表彰式を開催。受賞者19名が参加しました。  
当日は、さゆり太鼓の迫力ある演奏から始まり、今年久しぶりに飲食を伴った交流の場も再開。  
西会津産新米おむすびと豚汁を味わいながら、審査員・受賞者の皆さん交えて、和やかな場となりました。



受賞者のみなさんと



秋晴れに響く太鼓の音



新米おむすびに舌鼓♪

## 関連企画 一日限りのお餅屋さん

コロナ禍でお休みしていた関連企画も少しずつ再開。運営有志メンバーのご協力をいただき、お餅屋さんをオープンしました。西会津産もち米100%のつきたてのお餅は、合計で80皿以上も食べていただき、大好評。いつもの公募展らしくほっこりとした場をつくることができました。



一日限りの  
お餅屋さん



## 映画「杜人」上映会

12月2日（土）①10時②14時

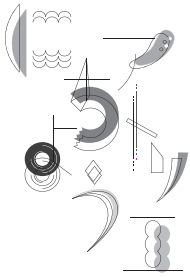
●入場料1000円\*18歳以下無料  
●お申込みは芸術村まで

「ある人は「地球の医者」と呼び、ある人は「ナウシカのよう」と言う。

人間よりも自然に従う風変わりな造園家に3年間密着。全国で頻発する豪雨災害は本当に「天災」なのか？  
風のように草を刈り、  
イノシシのように大地を掘って、環境問題の根幹に風穴をあける奇跡のドキュメンタリー。



「ある人は「地球の医者」と呼び、ある人は「ナウシカのよう」と言う。



# 今月のにちようアトリエは？

“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて  
子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。



これからは、  
よりも中で過  
ごす時間が長  
くなつていき  
ます。おうち  
でも芸術村で  
も、アートが  
横にある時間  
を過ごすと  
いうのもよい  
のです。

最近の常連さんは、6歳の女の子二人です。こゆり園でも一緒に遊ぶ二人、平日では足りないようで、日曜日にも一緒に過ごせることが楽しく嬉しくて仕方がないようです。その横にあるアート。遊びの延長で取り組むので、全く越えるべき壁もなく、ただただ楽しく創作しています。  
こうして見ていると、アートは単なる表現の一つであって、口から言葉が紡がれるように、歌を口ずさむように、スキップを踏んでしまうように、アートという表現方法で自己を表現することがとても自然なことに見えます。

## にちようアトリエ 11月予定表

- 11/5 『じぶんの顔を描いてみよう!』  
じぶんの顔ってどんな顔? 意外と知らないじぶんの表情と顔かたち。たまにはじっくり見てみよう!
  - 11/12 『布えほんのよみきかせ』  
展示中の布えほんから、リクエスト形式でスタッフが読み聞かせを行います。
  - 11/19 おやすみ
  - 11/26 『スイートポテト作りとお茶のブレンド体験』  
秋のおやつといえばさつまいも! 久しぶりのアトリエキッチン、スイートポテトを作ります。合わせるお茶はスペシャル講師でせいちゃん先生を招いて、自分だけのお茶を作ってみよう!
- にちようアトリエは、毎週日曜日 13:30 ~ 16:00 (時間内の出入り自由)、予約不要・参加費無料・年齢不問!  
誰でも参加できるのでお気軽にお越しください。

## スタッフおすすめ 今月の本

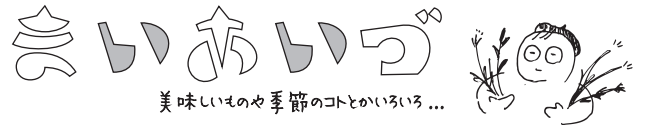
## 二十四節気の暦使い暮らし -かんぼう歳時記

著: 櫻井大典



この本は、「じぶんカフェ」にてお読みいただけます。

芸術村スタッフオススメの本をご紹介します。今回は清野が担当します。急に寒くなりましたね。風邪引いたりしていませんか?  
この本は漢方の専門家が分かりやすく四季折々の体のこと、食のこと、季節のことを解説しています。  
日々バタバタとして1日が暮れてゆきますが、この本を手にとると、季節や自然、自分の身体のことをちよつと考える時間ができて、癒しになります。ほっこりとした絵も素敵でお気に入りです。



新米食べましたか? 米どころに住む人達は、お米の味への解像度が高い。同じ産地のお米でも、町内であればどこの地域か、その中でも水源はどこか?などをよく知っています。こだわってお米を作っている農家さんは農協に出して、よそのお米と混ぜるのが嫌だと言う方もいます。そういう、こだわり個人的には大好きです。先日、いただいた新米を炊いて食べてみました。今年は猛暑の影響で米の品質にも影響が出たと言われていましたが、それでもやっぱり新米は美味しい~! 炊きたての香り、そのツヤやかさ、食べた時のもちもち感、あとからやってくる甘みの洪水! 米どころに住んでいてよかったー!と思う瞬間でした。



今年、いただいた新米を炊いて食べてみました。今年は猛暑の影響で米の品質にも影響が出たと言われていましたが、それでもやっぱり新米は美味しい~! 炊きたての香り、そのツヤやかさ、食べた時のもちもち感、あとからやってくる甘みの洪水! 米どころに住んでいてよかったー!と思う瞬間でした。

## インスタ日誌

### #写真撮影の舞台裏

公募展の期間中、時々見に来てくださる町内の方が庭の花を持ってきてくださいました。あたたかい秋色に受付がパッと明るくなりました。



#野草 #秋

「つかいかた」  
葉っぱは乾燥させてお茶に、実はお酒に漬けて飲用するのが一般的。アルコールを飛ばしてハチミツを入れると飲みやすくなるか。



## マワリテメクハ

### \*季節の草木ノート\*

野ブドウ(落葉性つる性木本)  
会津周辺では、「ぶすの実」と呼ばれる野ブドウですが、肝臓への働きが注目され、お茶やお酒の民間薬として親しまれてきました。ちなみに、実が「ぶす色」になることから、ぶすの実だそうですが、ぶす色とは青アザの色だそうです。

SNS更新中!  
チェックしてみね!



【お問い合わせ】西会津国際芸術村  
tel: 0241-47-3200  
mail: niav.public@gmail.com  
〒969-4622 福島県耶麻郡西会津町新郷大字笹川上ノ原道上 5752

【HP】



【instagram】 【Facebook】 【YouTube】 【Twitter】

